

N U O
 小野澤繁雄
 梅津純子
 布宮慈子

校庭の広さのなかで児の少な低学年か大波小波	1月27日	O
新年歌会不調に休めば名物の鯉の甘煮が三杯届く	1月31日	U
くるみとふ猫に会ふため計画す東京行きの「つばさ」の時刻	2月3日	N
おばあちゃんがいて車椅子猫もいるという家族観NHKにも	2月5日	O
白猫の写真出で来ぬふるさとの老父母の庭に抛りぬしノラよ	2月16日	U
春めいて気温上がれば消えてゆく雪なり庭と畑あらはる	2月23日	N
梅園は傾斜地なれば見下ろして見上げてもして紅もいろいろ	2月27日	O
あと二十日残雪願ふ二月尽沖繩からの孫迎へむと	2月28日	U
春かなと思へど白し昨朝の雪よ覆へよこの全世界	3月5日	N
お天気を上り坂なるないような今日下り坂低気圧きて	3月9日	O
さういへば三寒四温だったつけカーテン繰れば三月の雪	3月9日	U
あちこちと出歩くうちに春が来て今日は彼岸の中日である	3月20日	N
人に話して何か違ったことのように歩き仲間に兄の死のこと	3月26日	O
急死せる友のアパートのドアにうさこちゃん人形在りし日のままに	4月13日	U
片付けの最後に残る雛人形その行方はおぼろげとなる	4月20日	N
これ以降新型がない車でもそれにのりおりさいごの車	4月24日	O
二台目の車は軽のハスラーにて荷物をいつぱい積んで走る	4月27日	N